

地域の繋がり と 町内諸団体との連携を生かした活動

大川市 ^{べにや} 紅粉屋町公民館【自治公民館】 館長 井口 秋法

1. 事業名

町内の融和と健康で明るい町づくり

2. 事業の目的

1. 国民の休日には国旗を掲げる運動
2. あいさつ運動
3. 話し合いの場、各種公民館施設の有効利用
4. 各種行事の実施
5. 各種集会の時間励行
6. その他
 - ・市、校区コミセン主催行事への積極的な参加
 - ・町内各種団体との連携を密にした協力
 - ・その他の事項については、公民館運営協議会に諮る

3. 事業の実施主体

紅粉屋町公民館
町内各種団体（9団体）
隣組長（13組）
※主体となる団体

- ・紅粉屋ソフトボール倶楽部

（昭和51年創部以来42年間継続）

町内在住者のみで結成（22名 51～77歳 平均年齢65歳）され、町内の環境美化や独自の行事は、全員のうち半数が公民館役員兼務のため、公民館活動の一環として長年継続されています。

4. 事業予算

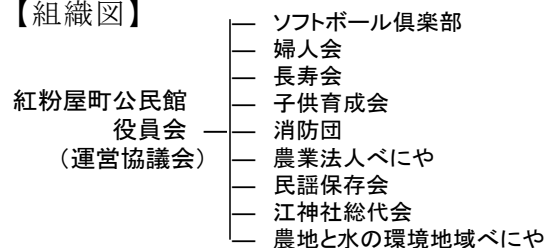
平成30年度予算 約1,180,000円

5. 実施に至る経緯（3行事を中心に）

- 8月14日 : 夏まつり（昭和50年より継続中）盆踊り、奉納子ども相撲は戦前より開催。
- 9月第3日曜日 : 隣組対抗親善グランドゴルフ大会（14回目）
⇒以前はソフトボール大会が20回行われ、発展的に変更。
- 12月第2日曜日:「ほんげんぎょう」設置作業、戦前より傳承されているもので、一時期中断しましたが、平成元年に復活し、31回を迎えます。
正月に点火。

上記3行事は、町内で受け継がれている行事で、町内の協力諸団体はもちろん、実家帰省者も参加することで町内の人口が増えた感じさえします。

【組織図】



6. 事業の内容



〔夏まつり・カラオケ大会〕



〔夏まつり・盆踊り〕

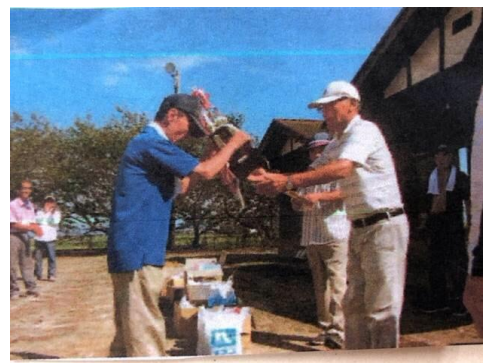
毎年8月14日は早朝からのぼり立てが始まり、盆踊りやカラオケの時間帯には、境内は大勢の町民で賑わいます。世話方さんは、一日中クタクタに疲れます。

- ・のぼり立て降ろし（隣組長を中心に婦人会を除く諸団体） ・子ども奉納相撲（子ども育成会） ・舞台設置（公民館役員他ソフトボール倶楽部） ・夜店（ソフトボール倶楽部）
- ・8/13～15 神社提灯担当（子ども会、総代会、公民館）
- ・盆踊り、抽選会（町民、婦人会、子ども会）
- ・6月の役員会より協議（ゲスト、来演者の協議）※平成22年と25年は琴奨菊関来訪
- ・7月下旬にプログラム作成、手書きポスターを掲示板で広報
- ・8月上旬に2回盆踊りの練習、各団体にカラオケ出場者依頼
- ・これらの行事については、年2回（10月と3月）の「公民館だより」に掲載



第14回 紅粉屋町隣組対抗親善グラウンドゴルフ大会 平成30年9月16日
於 茨木園グラウンド 主催 紅粉屋公民館

〔全町民の集合写真〕



〔グラウンドゴルフ大会表彰〕

ホールインワン賞も多く達成され、老若男女、町内集合写真に（23年ぶり）ハイ、ニコッ！！

- ・8月下旬に「公民館運営協議会」において各隣組長さんに説明会
- ・公民館体育部を中心に運営
- ・隣組対抗のため、選手審判員は隣組長に依頼
- ・8月末、会場の清掃等（除草等）を役員、ソフトボール倶楽部、長寿会で実施



〔ほんげんぎょう準備〕



〔ほんげんぎょう完成〕

10月下旬にワラ収集、12月上旬に隣組長さんをはじめ、各団体の協力により制作。無病息災、五穀豊穰、家内安全等を願い、新年1月上旬大勢の皆様が見守る中点火。

7. 事業の成果

公民館長12代目（昭和45年以降）約半世紀の間、先輩諸氏から「町内の融和」は、脈々と受け継がれて根付いております。伝承民俗芸能「四ッ竹踊り」も復活以来、婦人会や長寿会（婦人部）、少ないながらも子ども達も笛やかかけ声で頑張ってくれています。盆踊りやカラオケ時は町民一同の集いの場であり、帰省されている方々との再会の場でもあります。

提灯の下、町内諸団体で作り上げる一大イベントは田舎ならではの夏まつりになっています。

また、ソフトボール倶楽部の年末年始のイルミネーション設置（16年目）は、町内外を問わず好評です。

大晦日の神社参道のかがり火設置（甘酒）も町内の皆様の初詣に一役をなしております。



〔伝承民俗芸能「四ッ竹踊り」〕

8. 今後の課題

- ・地域の風土（文化）を大切にしながら、各行事の魅力ある内容の工夫と町民への広報活動や諸団体との連携を深めていきます。
- ・少子高齢化は、本地域も当然の現象です。

（10年前：138世帯435人 → 現在：121世帯361人です。）

ただし、今年度（30年度）は若い人の世帯が4軒増加しました。

- ・地域婦人会の活動は、校区12町のうち6町のみで、解散が近年目立ってきています。本町も50～60歳の方々の加入が減少しています。
- ・隣組単位が従来に分家等の関係から長年続いていますが、近年人数のバランスや広範囲な面もあり、行事等で合併を余儀なく実施することも多くなりました。行政面との関係もあり、再編成の検討が必要となっています。

問合せ先

〒831-0016 大川市大字酒見 221-1

大川市中央公民館（大川市文化センター内）

TEL：0944-88-0015

FAX：0944-88-0017

Eメール：okwbunkac@city.okawa.lg.jp